

福島第一原子力発電所

3号機クレーン主巻 復旧状況について

- 3号機燃料取り出し作業については、2020年11月18日、3号機クレーン主巻が使用済燃料プール水面から2m弱の位置から巻き上がらない状態であることを確認しました。[〈2020年11月24日お知らせ済み〉](#)
- クレーン主巻をオペレーティングフロア面よりも高い位置まで巻き上げ、メンテナンスエリアへ移動した後に主巻モータ部の復旧作業を行うことを目的に、12月15日、クレーン主巻に外部モータを取り付け、巻き上げ作業を開始しましたが、主巻が上昇しないことを確認しました。
- 外部モータの状態確認と並行して、主巻モータ関連部材を分解しながら問題箇所の絞り込み調査を行ったところ、主巻モータ巻線部と直結しているケーブル部分に短絡傾向があることを確認しました。これを踏まえ、昨日（12月16日）、直ジョイントケーブルを予備品と交換し主巻モータの状態を確認した結果、主巻モータが作動することを確認しました。その後、主巻の巻き上げを実施のうえ、クレーンをメンテナンスエリアへ移動しました。
- 現在は、クレーン装置の健全性について確認中であり、早ければ来週にも燃料取り出し作業を再開する予定です。
- また、ガレキ撤去作業や燃料吊り上げ試験等の燃料取り出し関連作業については、準備が整い次第、再開する予定であり、2020年度末までの566体の取り出し完了に向けて、引き続き安全第一で、確実に作業を進めてまいります。

